

# 令和元年度 事業報告

「人と人がつながり 支え合い 笑顔あふれる 玄海町」

社会福祉法人玄海町社会福祉協議会

# 令和元年度社会福祉法人玄海町社会福祉協議会事業報告書

本会の基本理念である「人と人がつながり 支え合い 笑顔あふれる 玄海町」に基づき、高齢者、障がい児・者、児童・生徒、幼児を対象とした多岐にわたる事業に取り組みました。また、町内全住民を対象にコミュニティバスの運行を行い、生活の脚としての移動手手段の確保に努めました。さらには、これまで実施してきた介護保険サービスの充実を図り、あらゆる階層からの相談に応じる総合相談事業や安全かつ確実に最優先に通学バス運行事業にも努め、研修等を通じた職員の意識改革、啓蒙普及により、社協の組織体制及び経営基盤の強化を図りました。

今年度後半には、未だ世界を大きく揺るがしつつある新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な事業の実施を見送るなど事業運営に影響を及ぼしておりますが、その様な中においても、これまで継続してきた様々な事業を発展・充実させ、人と人とのつながり、支え合いの仕組みづくりを進め、総合的な福祉サービス事業に取り組み、地域住民の福祉の増進を図りました。

## 1. 理事会・定時評議員会・評議員選任解任委員会・監事会開催状況

### (1) 理事会開催状況 理事定数 9 名

#### 1) 第1回理事会 令和元年5月23日 (出席7名 欠席2名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成30年度事業報告について

議案第2号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成30年度一般会計歳入歳出決算について

議案第3号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会評議員の推薦について

議案第4号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会次期役員候補者の推薦について

#### 2) 第2回理事会 令和元年6月10日 (出席8名 欠席1名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会会長、副会長の選任について

#### 3) 第3回理事会 令和2年3月24日 (出席9名 欠席0名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和元年度一般会計歳入歳出補正予算(第1号)について

議案第2号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和2年度事業計画について

議案第3号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和2年度一般会計歳入歳出予算について

支出額 54,000円

### (2) 定時評議員会開催状況 評議員定数 14 名

#### 1) 第1回定時評議員会 令和元年6月10日 (出席11名 欠席3名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成30年度事業報告について

議案第2号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成30年度一般会計歳入歳出決算について

議案第3号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会役員の選任について

支出額 30,000円

(3) 評議員選任・解任委員会開催状況 評議員選任・解任委員定数3名

1) 第1回選任委員会 令和元年6月10日 (出席3名 欠席0名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会評議員の選任について

支出額 6,000円

(4) 監査

○理事会による予算審議等のため役員会等へ出席

○平成30年度社会福祉法人玄海町社会福祉協議会一般会計決算監査

○理事会・定時評議員会決算審議のため役員会等へ出席

支出額 24,000円

2. 社会福祉協議会組織の強化

(1) 役員研修

例年、玄海町社会福祉協議会の向上発展のため、「行政を頼らない自立した社会福祉協議会」を目指し、福祉の先進地へ視察研修を行って参りましたが、本年度は昨年も好評でした、佐賀県社会福祉協議会が開催する「社会福祉協議会役員(理事・監事・評議員)・職員合同研修会への参加を行いました。研修については、県内各市町の社会福祉協議会における特徴的な事業の取組状況や、地域の課題等の報告が行われ、今後取り組むべき事業・活動の方向性や実践課題、求められる役割等について学び、各市町社協の事業の充実・強化に繋げる事を目的に開催されました。

(2) 職員研修

職場内研修及び佐賀県、佐賀県社会福祉協議会、佐賀県老人福祉施設協議会、財団法人介護労働安定センター等の研修会に積極的に参加し、職員の意識改革を行うとともに、介護事業における介護サービスの向上並びに組織の強化に努めた。

①職場内職員研修

②管理者、係長、主任会議

支出額 433,090円

3. 福祉の風土づくり

(1) 広報活動の充実強化

社会福祉協議会の事業並びに地域活動を広く町民の方に知ってもらい、社会福祉協議会の理解や地域福祉活動の活性化を図るため、年間4回発行し、町内全世帯及び関係機関に配布した。インターネット通信での配信として、ホームページを開設し、幅広く情報提供に努めた。

支出額 385,755円

(2) ボランティア活動の推進、育成援助

将来を担う、児童・生徒・学生が地域の中で福祉教育やボランティア活動に取り組み、他人を思いやる心、相手の立場に立って考えたり共感出来る温かい心、社会連帯の精神を育成、また学校と福祉ボランティア活動とが連携し地域ぐるみで地域の特性に応じた様々な福祉ボランティア活動を推進した。

①学校ボランティア育成事業指定校

・玄海みらい学園

・唐津青翔高等学校

支出額 172,000円

②福祉教育・ボランティア活動等支援事業

- 令和元年6月29日 手話教室（みどり児童館） 46名参加
- 令和元年8月 7日 福祉体験&工作(佐賀県在宅サポートセンター) 26名参加
- 令和2年3月 7日 高齢者疑似体験(仮屋コミュニティセンター体育館) 予定中止

福祉の観点から障がいを持たれた方や、高齢者の方々との触れあいの場を設け、支え合う社会を学んでもらうため福祉入門教室を実施した。また、遊びを取り入れた2児童館合同での手話教室や、福祉用具等の見学、また障害のある方の移動に伴う昇降機等の試乗したり実体等を行いました。子供達は興味深く真剣に取り組む姿が見られ、仲間とも交流し意義ある教室が開催出来た。

支出額 69,306円

4. 社会福祉活動事業

(1) 共同募金事業

共同募金の趣旨を広く伝えるべく、広報誌等を活用した周知に努めました。町民体育祭会場での街頭募金活動は、突風が吹き荒れる中、実施しました。また、各世帯、区長会、民生委員・児童委員協議会、町内外事業所、町職員、玄海みらい学園・唐津青翔高等学校教職員及び児童生徒、福祉施設等の皆様方のご協力により目標の達成に努めました。

(2) 日赤募金事業

毎年5月を「赤十字運動月間」と定め、赤十字の理念や活動を理解・協力していただくため、赤十字運動イベント「防災セミナー」として、保育園児親子を対象にした「幼児安全法」を実施した。

- 日 時 令和元年7月13日 9時45分から10時20分
- 場 所 玄海町保育園 「あおば保育園 ホール」
- 参加数 ぞう組親子 地域婦人会他 49名

募金の状況

募 金 種 別	種 別	目 標 額	実 績 額
日 赤 募 金	一 般 募 金		860,400円
	法 人・そ の 他		273,818円
	合 計	876,000円	1,134,218円
共 同 募 金	戸 別 募 金		837,000円
	法 人 募 金		464,337円
	街 頭 募 金		109,705円
	学 校 募 金		2,913円
	職 域 募 金 他		214,000円
	イ ベ ン ト 募 金		0円
	そ の 他		537円
	合 計	1,336,000円	1,628,492円
合 計			2,762,710円

(3) 歳末助け合い募金配分状況 (在宅者配分)

一人暮らし高齢者 94人 しめ縄

支出額 73,320円

5. 低所得者階層の更生事業

(1) 生活福祉資金斡旋事業

支出額 115,000円

(2) 町福祉資金貸付事業

生活資金貸付金 3件

支出額 209,000円

6. 児童福祉活動事業

(1) 青少年育成事業

4クラブ、4チームのクラブ活動に援助協力を行い、児童の健全育成に努めた。

クラブ名	人数
ジュニアバレーボール	14人
剣道	13人
バドミントン	30人
野球	20人

支出額 104,000円

(2) 児童館事業

児童に健全な遊びを与えて、個別的及び集団的指導によって、その健康を増進し情操を豊かにするとともに、「遊ぶ場所」「留守家庭児童の見守る場所」から「育てる場所」としての活動も増え、より有益な体験を提供し、地域における児童の健全育成に努めました。

項目	さくら児童館	みどり児童館
○児童登録者数	100人 (64家庭)	94人 (65家庭)
○年間来館者数	7,547人	10,108人
○年間開館日数	285日	285日
○一日平均利用者	26.4人	35.5人

支出額 26,493,285円

(3) 子育て親子ふれあい広場

0歳児から就学前の子育て中の親子が気軽に集い交流して楽しむ場、子育ての不安や悩みを相談できる場として、地域にある児童館を提供し、子育て親子ふれあい広場を計画し募集したが参加の応募が無かった。

期日 令和元年11月27日

場所 さくら児童館 集会室

参加者 無

支出額 7,293円

(4) サンタクロース大作戦

地域福祉の一環として、本会職員がサンタクロースに扮してお子様のいるご家庭を訪問し、プレゼントをお届けする心温まる微笑ましいサプライズを目的に事業を実施した。

期 日 令和元年12月24日  
場 所 希望者宅  
希望者 4家庭

支出額 7,247円

7. 老人福祉活動の推進

(1) いきいきサロン事業『げんき会』

日々の生活の中で、デイサービスに通うほどでもないが、積極的に外出するほどの気力や体力が起きず、家に閉じこもりがちな高齢者等は、孤独や不安、寂しさを抱えながら過ごされている人も多い。この様な方々の社会的孤立感の解消及び自立生活の向上を目的に、歩いていける場所・気軽にふらっと立ち寄れる場所「地域の集いの場所」を利用し、その当事者と地域住民が共同で事業を実施した。

- 年間延実施回数 37回
- 年間延利用人員 424人
- 一回実施参加人員 11.4人

地区名	回数	人数	地区名	回数	人数
中 通	2回	30人	有浦下	3回	46人
仮 立	2回	24人	座川内	3回	36人
普恩寺	2回	32人	田 代	4回	30人
栄	3回	14人	轟 木	9回	77人
諸 浦	9回	135人			

支出額 636,746円

(2) 一人暮らし老人給食事業

町内の一人暮らし老人等の心身の健康保持のため、独居老人及び老人世帯等に食生活改善推進協議会、民生委員・児童委員協議会、ボランティア会員、座川内婦人会の協力を得て、旬の食材を使った手作りの弁当を配食した。

七月実施の七夕会では、民生児童委員による心温まる手料理や、保育園児とのふれあい交流会を通して、楽しい一時を過ごしていただきました。その他、町内のボランティア会員の協力を得て、夏場の食中毒を避けトコロテンの配食及び秋の行楽シーズンにはバスドライブを実施しました。

- 年12回開催 会食会（七夕会）1回（77人）
- バスドライブ 1回（22人）
- 配 食 10回（396人）
- 延配食数 495食

支出額 328,597円

(3) 緊急情報キットの設置

在宅の高齢者や身体の不自由な人達に対する緊急時の迅速な対応として、かかりつけ病院や持病などの医療情報、服薬情報、緊急連絡先などの情報を専用の容器に入れ、家庭の冷蔵庫に保管することで、万が一の緊急時に備え、定期的な訪問の機会をつくり、情報の更新を行うことにより見守り活動の充実を図るとともに、見守られる側の安心の確保につとめた。

- 独居高齢者世帯 102世帯
- 高齢者のみ世帯 77世帯(155人)

#### (4) 在宅介護者の集い

在宅において寝たきりや認知症の高齢者を介護している家庭の方がお互いの悩みなどを話し合い、交流を持つことでより良い介護の継続がなされるように、また、日頃の介護疲れを癒やして心身をリフレッシュし、ほんのひとときでも「ほっと」してもらい、共に介護者同士の悩みや直面されている問題などの情報交換をしながら交流することを目的として事業を実施した。

第1回目 期 日 令和元年7月30日  
場 所 玄海町福祉施設 (特別養護老人ホーム/介護予防教室/デイサービス等)  
参加数 8名  
第2回目 期 日 令和元年11月26日  
場 所 佐賀県在宅サポートセンター  
参加者 5名

支出額 27,712円

#### (5) 在宅介護支援センター事業

在宅の要援護高齢者若しくは、要援護となるおそれのある高齢者、又はその家族等に対し、福祉ニーズに対応した各種の保健、福祉サービスが総合的に受けられるよう行政機関、サービス実施機関及び居宅介護支援事業所等との連絡調整を行い、在宅介護などに関する総合的な相談支援に努めた。

相談件数 2,212件

支出額 8,555,317円

#### (6) 玄海町「食」の自立支援事業

町内に居住する在宅の一人暮らし高齢者等に、栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、地産地消の食材を使用した地元業者の参入も加え、高齢者の安らぎのある生活を支援するとともに、当該高齢者の安否の確認、孤独感の解消を図り、在宅での自立支援に努めた。

○登録者数 45人  
(独居22人、高齢者のみ世帯8世帯、その他 15人)  
○年間利用者数 3,557人  
○年間配食日数 293日  
○一日平均配食数 12.1食

支出額 4,852,804円

### 8. 介護事業等実施

#### (1) 訪問介護(ホームヘルパー)事業

訪問介護員(ホームヘルパー)が家庭を訪問し、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来るよう、食事、入浴、排泄の介助炊事、掃除、洗濯など、ケアプランに基づいた日常生活の手助けを行い在宅福祉の向上に努めた。

(令和2年3月現在)

自立者	障害者	支援1・2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
3名	2名	6名	3名	2名	0名	1名	1名

収入額 11,331,309円

(2) 通所介護（デイサービス）事業

要援護状態や要介護状態となった場合においても、利用者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した、日常生活を営むことが出来るよう、食事、入浴、日常動作訓練、レクリエーション等の各種サービスを提供し、お年寄りの社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減に努めた。

○登録者数 66人

○利用者延べ 6,958人

○実施日数 310日

○一日平均利用者 22.4人

○平均介護度

収入額 50,612,380円

(3) 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じた適切なサービスを多様な事業者から総合的、かつ効率的に提供されるよう、利用者が可能な限り居宅において有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう介護支援専門員（ケアマネージャー）が利用者、家族と各介護保険事業所を繋ぐ役割を行った。

○利用実人数 70人（介護 64人 予防 6人）

○延べ利用者数 910人（介護 828人 予防 82人）

収入額 10,416,330円

(4) 認知症対応型通所介護事業

認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供し、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることが出来るよう、通所介護の施設に通い、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上を提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などに努めた。

○登録者数 11人

○利用者延べ 1,168人

○実施日数 310日

収入額 15,052,850円

(5) 介護予防・生活支援サービス事業

認知症や介護が必要な状態にならず、住み慣れた地域でできるだけ自立した生活を続けられるよう、体と心の機能を維持・改善するための運動又はレクリエーション等を実施した。

○登録者数 78人

○利用者延べ 3,343人



- 実施日数 145日
- 一日平均利用者数 23.0人

支出額 12,372,366円

#### 9. 日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的障がい・精神障がいなどの理由で、判断能力が不十分な方を対象として、住み慣れた地域での生活を支援するために、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理、利用料の支払い等を行い在宅生活の支援を行った。

- 相談・問い合わせ件数 59件
- 利用者数 3人

支出額 319,000円

#### 10. 総合相談事業

地域福祉活動計画に基づいた総合相談事業を実施した。総合相談事業では、玄海町住民を対象に複合的な相談事業を行い、電話だけでなく、家庭等を訪問するなどのさまざまな方法により応じ、各種福祉の提供に関わる援助、調整等を行った。

- 年間取扱件数 797件
- 年間実人員 55人

支出額 11,241,753円

#### 11. コミュニティバス運行事業

日常生活に必要な交通手段を確保し、地域住民の公共交通の活性化を図ることを目的とし、安全かつ確実に最優先に運行を実施した。

- 登録者数(カード発行数) 227人
- 年間利用者数 5,576人
- 年間運行日数 288日
- 一日平均利用者数 19.4人

支出額 9,104,000円

#### 12. 公益事業

##### (1) 児童生徒等送迎事業

玄海みらい学園の児童・生徒の移送を行う通学バス運転業務を町より受託し、安全かつ確実に最優先に事業を実施した。

##### 1) 通学バス運行

- 年間運行回数 2,368回
- 年間利用者数 60,043人
- 年間走行距離数 37,000km

##### 2) 臨時運行

- 年間運行回数 184回
- 年間利用者数 4,353人
- 年間走行距離 8,518km

支出額 35,618,870円

### 13. 収益事業

#### (1) 葬祭用祭壇貸付状況

	1号	2号	計
貸出件数	0件	11件	11件
貸出料金	0円	101,970円	101,970円
超過料金	0円	46,350円	46,350円
合計	0円	148,320円	148,320円

#### (2) 葬祭用品販売状況

販売件数 10件 収入額 3,844,552円

### 14. その他事業

#### (1) 自動販売機（清涼飲料等）事業

役場内 3台 総合グラウンド 1台 野球場駐車場 1台  
町民会館 3台 あすぴあ 4台 福祉施設 1台  
社会体育館 3台 浜野浦棚田 1台 玄海園 2台 計19台

売上額 1,382,753円